

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年10月13日
第34号



先日、「桜台小学校見守り会」の代表者の方から、「きょうの朝は8割ぐらいの子どもたちがしっかりと手を挙げて横断歩道を渡ってくれていました」というお話がありました。最近、朝のあいさつも「おはようございます」と子どもたちから少しずつ返ってくるようになり、1学期の状況を取り戻しつつあります。

それとは逆に、運動場にお菓子の空き箱や包み紙、飲料水用のペットボトルが落ちていることが多くなりました。また、放課後や休日にサッカーゴール付近まで自転車を乗り入れて遊んでいるなど、1学期には見られなかった光景が見られます。緑の会や園芸ボランティアの皆様が、子どもたちのために運動場をきれいにしようと頑張ってくれています。運動場に平気でゴミを捨てていく子、運動場まで自転車を乗り入れて遊んでいる子、「そんな心のままでいいのかなあ？」と私は心配になります。前号(第33号)でも書きましたが、地域の皆様のご厚意に、感謝の気持ちを態度で表している子も見られるようになってきました。そんな桜台小のなかまの気持ちを台無しにしないよう、みんなが気持ちのいい生活を送れるように、今一度、自身の姿をしっかりと見つめ直してほしいと思います。
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



「なぞなぞの詩」(2年生)が掲示されています。

2年生の廊下には「なぞなぞの詩」が掲示されています。「よく見ているなあ」「なるほどそう考えたのか」と思う傑作が並んでいます。子どもたちの発想がおもしろかったので、いくつか紹介します。何の何を詩にしているのか、皆さんも一度、一緒に考えてみてください。答えは次回号(第35号)で発表します。

- 「かっことかっことちかちかが おいかけっこしながら ちりちりりーとなるのをまっている」
- 「ゴシゴシと まちがえた字をけして 小さくなる」
- 「もくもく お空をうかぶ わたあめみたい」
- 「あけたりしめたりできるもの なくしたら大へんだよ」
- 「きょうしつにあるものです 後ろでみんなを見まもって 風をだしてくれます」
- 「1本のロープで 人がとんでくれるのをまっています」
- 「夏にかつやくします ロから風をだします ボタンなどで弱くしたり、強くしたりできます」
- 「みんながいます かぜやコロナにならないようにするものです いろいろなしゅるいがあります」
- 「むらさき色です たくさんたべるとおならがでます いろんなものにつつまます」
- 「ぼくのはなはぞうのように長いんだ みんなぼくのはなの上ですべてあそぶんだ」



本の読み聞かせをしてもらっています。

毎週金曜日を中心に、朝の読書の時間を使い、図書ボランティアの皆様には絵本の読み聞かせをしてもらっています。特に低学年の子どもたちは、読み聞かせをしてもらうことが大好きで、絵本の見えるところに移動しては、図書ボランティアさんの方を向いてしっかりと話を聞いています。先日は「ちいさなハチドリのはな」という絵本を読んでもらいました。その絵本の内容は次のようなものです。

多くの動物の住む森が、落雷によって火事になります。小さなハチドリは小さな一滴一滴をくちばして運んでその火事を消そうとします。その小さな力はやがて周りの動物たちの意識も変えていくのです。

一人ひとりができることは、小さなことかもしれませんが、みんなで実行するとそれは大きな力となります。そんなことを感じさせてくれる内容でした。

11月14日(月)14:10~家庭教育講座として、メリーゴーランド店主、増田喜昭さんをお招きし、「読書の良さや必要性について、考え合います。時間が許せばご参加をよろしく願います。」(文責 北住 昌文)

